



2019年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年7月4日

上場会社名 株式会社キューソー流通システム 上場取引所 東
 コード番号 9369 URL <https://www.krs.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西尾 秀明
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営推進本部長 (氏名) 笹島 朋有 TEL 042-441-0711
 四半期報告書提出予定日 2019年7月12日
 配当支払開始予定日 2019年8月6日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2019年11月期第2四半期の連結業績（2018年12月1日～2019年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年11月期第2四半期	84,567	2.7	2,167	0.2	2,487	11.4	1,351	13.0
2018年11月期第2四半期	82,339	5.9	2,163	△9.0	2,232	△7.0	1,196	△7.4

(注) 包括利益 2019年11月期第2四半期 1,563百万円 (5.7%) 2018年11月期第2四半期 1,478百万円 (△13.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年11月期第2四半期	108.75	—
2018年11月期第2四半期	96.25	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
2019年11月期第2四半期	84,530		39,784		43.2	
2018年11月期	82,517		38,550		42.9	

(参考) 自己資本 2019年11月期第2四半期 36,492百万円 2018年11月期 35,421百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年11月期	—	22.00	—	22.00	44.00
2019年11月期	—	23.00	—	—	—
2019年11月期（予想）	—	—	—	23.00	46.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年11月期の連結業績予想（2018年12月1日～2019年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	172,000	1.7	4,800	2.2	4,900	1.6	2,470	5.9	198.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年11月期 2 Q	12,677,900株	2018年11月期	12,677,900株
② 期末自己株式数	2019年11月期 2 Q	249,476株	2018年11月期	249,476株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年11月期 2 Q	12,428,424株	2018年11月期 2 Q	12,428,436株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料] 3 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料および決算説明会内容の入手方法）

当社は、2019年7月5日（金）に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなか、個人消費は持ち直しの動きが見られるなど、緩やかな回復が続きました。一方で、通商問題の動向が世界経済に与える影響や、金融資本市場の変動の影響などにより、先行きは不透明感を増しております。

食品物流業界におきましては、燃料調達単価の再上昇や、人手・車両不足、法改正への対応、食の安全・安心に応える物流品質向上への投資など厳しい経営環境で推移しました。

このような状況のなか、当社グループは、「持続的成長への挑戦」をテーマに掲げ、「新領域の創出による成長」「機能の強化と拡充」「選ばれる企業価値の創造」の3つを基本方針とした、中期経営計画(2019年度から2021年度)を推進しております。

中期経営計画の初年度となる2019年度は、大型投資による減価償却費の増加が見込まれるなか、持続的成長に向け目標を確実に達成させる年として、収益力の強化、無人化・省力化への挑戦、輸送力の確保、働きやすい職場環境づくりに取り組んでおります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、営業収益は845億67百万円と前年同期に比べ22億27百万円

(2.7%増)の増収、営業利益は21億67百万円と前年同期に比べ4百万円(0.2%増)、経常利益は24億87百万円と前年同期に比べ2億54百万円(11.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は13億51百万円と前年同期に比べ1億55百万円(13.0%増)の増益となりました。

セグメントの経営成績は以下のとおりであります。

(共同物流事業)

共同物流事業収益は、食品メーカーなどの新規取引や既存取引の拡大により増収となりました。利益面は、新規・既存拡大にともなう利益増に加え、適正料金の収受および運送業務の合理化などが進捗しましたが、労務費や将来の事業拡大に向けた営業費用の増加影響を受けました。

この結果、共同物流事業収益は561億92百万円と前年同期に比べ17億51百万円(3.2%増)の増収、営業利益は11億59百万円と前年同期に比べ35百万円(3.0%減)の減益となりました。

(専用物流事業)

専用物流事業収益は、既存取引が減少し減収となりました。利益面は、既存取引減少による利益減や労務費などの増加影響を受けたものの、運送業務の合理化および適正料金の収受などが進捗しました。

この結果、専用物流事業収益は252億1百万円と前年同期に比べ1億84百万円(0.7%減)の減収、営業利益は7億60百万円と前年同期に比べ1億2百万円(15.7%増)の増益となりました。

(関連事業)

関連事業収益は、燃料販売数量や車両販売台数などの増加により増収となりました。利益面は、減価償却費などの増加影響を受けました。

この結果、関連事業収益は31億72百万円と前年同期に比べ6億60百万円(26.3%増)の増収、営業利益は2億32百万円と前年同期に比べ69百万円(23.1%減)の減益となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ20億13百万円増加し、845億30百万円となりました。資産の増加の主な要因は、受取手形及び営業未収入金の減少7億33百万円はありましたが、有形固定資産の増加22億79百万円、現金及び預金の増加2億88百万円などによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ7億79百万円増加し、447億46百万円となりました。負債の増加の主な要因は、支払手形及び営業未払金の減少7億33百万円、未払金等の減少による流動負債その他の減少5億32百万円はありましたが、長期借入金の増加19億79百万円などによるものであります。

また、純資産合計は前連結会計年度末に比べ12億33百万円増加し、397億84百万円となりました。純資産の増加の主な要因は、利益剰余金の増加10億78百万円、非支配株主持分の増加1億62百万円などによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ2億88百万円増加し48億33百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、32億73百万円（前年同期は19億7百万円の収入）となりました。これは主に、法人税等の支払額の発生、仕入債務の減少はありましたが、税金等調整前四半期純利益、減価償却費の計上および売上債権の減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、44億31百万円（前年同期は27億24百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出および無形固定資産の取得による支出によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、14億46百万円（前年同期は1億90百万円の支出）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出、短期借入金の純増減額の減少およびリース債務の返済による支出はありましたが、長期借入れによる収入によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年1月10日の「2018年11月期 決算短信」にて公表いたしました連結業績予想の数値につきましては、営業利益、経常利益、親会社に帰属する当期純利益は変更ございませんが、営業収益は1,720億円を見込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,545	4,833
受取手形及び営業未収入金	19,560	18,827
商品	93	99
貯蔵品	112	156
その他	1,504	1,490
貸倒引当金	△129	△128
流動資産合計	25,686	25,278
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,077	11,053
機械装置及び運搬具(純額)	9,989	10,530
工具、器具及び備品(純額)	1,088	1,170
土地	21,492	21,807
リース資産(純額)	2,525	2,361
建設仮勘定	968	2,497
有形固定資産合計	47,141	49,421
無形固定資産	1,418	1,301
投資その他の資産		
投資有価証券	2,341	2,237
敷金及び保証金	3,810	3,801
その他	2,170	2,542
貸倒引当金	△52	△52
投資その他の資産合計	8,270	8,528
固定資産合計	56,830	59,251
資産合計	82,517	84,530

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	14,366	13,633
短期借入金	4,747	5,016
未払法人税等	912	936
賞与引当金	920	975
役員賞与引当金	60	37
その他	7,986	7,454
流動負債合計	28,994	28,053
固定負債		
長期借入金	10,664	12,643
退職給付に係る負債	804	627
資産除去債務	903	905
その他	2,600	2,516
固定負債合計	14,972	16,692
負債合計	43,966	44,746
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,063	4,063
資本剰余金	4,209	4,209
利益剰余金	27,499	28,577
自己株式	△361	△361
株主資本合計	35,411	36,489
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	734	658
繰延ヘッジ損益	△9	△9
為替換算調整勘定	94	94
退職給付に係る調整累計額	△809	△741
その他の包括利益累計額合計	9	2
非支配株主持分	3,129	3,292
純資産合計	38,550	39,784
負債純資産合計	82,517	84,530

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年12月1日 至 2018年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年5月31日)
営業収益	82,339	84,567
営業原価	77,846	79,878
営業総利益	4,493	4,688
販売費及び一般管理費	2,329	2,520
営業利益	2,163	2,167
営業外収益		
受取利息	10	3
受取配当金	5	14
受取賃貸料	29	29
持分法による投資利益	0	—
補助金収入	3	303
デリバティブ評価益	21	3
その他	74	59
営業外収益合計	146	414
営業外費用		
支払利息	52	54
貸与設備諸費用	16	21
持分法による投資損失	—	1
その他	7	17
営業外費用合計	76	94
経常利益	2,232	2,487
特別利益		
固定資産売却益	34	16
投資有価証券売却益	8	—
特別利益合計	42	16
特別損失		
固定資産除売却損	40	51
リース解約損	0	0
その他	2	—
特別損失合計	44	51
税金等調整前四半期純利益	2,231	2,452
法人税、住民税及び事業税	860	946
法人税等調整額	△24	△71
法人税等合計	836	874
四半期純利益	1,395	1,577
非支配株主に帰属する四半期純利益	199	225
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,196	1,351

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年12月1日 至 2018年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年5月31日)
四半期純利益	1,395	1,577
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13	△82
繰延ヘッジ損益	1	0
為替換算調整勘定	△8	△0
退職給付に係る調整額	103	68
その他の包括利益合計	83	△13
四半期包括利益	1,478	1,563
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,277	1,344
非支配株主に係る四半期包括利益	201	218

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年12月1日 至 2018年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,231	2,452
減価償却費	1,820	1,974
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△89	55
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△118	△79
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△24	△23
受取利息及び受取配当金	△16	△17
支払利息	52	54
持分法による投資損益(△は益)	△0	1
投資有価証券売却損益(△は益)	△8	—
有形固定資産売却損益(△は益)	△32	△2
有形固定資産除却損	38	37
売上債権の増減額(△は増加)	109	733
たな卸資産の増減額(△は増加)	△28	△50
仕入債務の増減額(△は減少)	△509	△837
長期未払金の増減額(△は減少)	△3	—
未払消費税等の増減額(△は減少)	△569	9
その他	△204	△118
小計	2,650	4,188
利息及び配当金の受取額	20	24
利息の支払額	△52	△52
法人税等の支払額	△785	△927
法人税等の還付額	74	41
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,907	3,273
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,610	△3,966
有形固定資産の売却による収入	103	37
無形固定資産の取得による支出	△238	△482
投資有価証券の取得による支出	△5	△15
投資有価証券の売却による収入	17	—
貸付けによる支出	△7	△18
貸付金の回収による収入	17	15
その他	△0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,724	△4,431
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,700	△600
長期借入れによる収入	—	4,300
長期借入金の返済による支出	△1,109	△1,451
リース債務の返済による支出	△476	△472
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△248	△273
非支配株主への配当金の支払額	△56	△56
財務活動によるキャッシュ・フロー	△190	1,446
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,013	288
現金及び現金同等物の期首残高	4,662	4,545
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	461	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,110	4,833

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2017年12月1日至2018年5月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	共同物流 事業	専用物流 事業	関連事業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	54,440	25,386	2,512	82,339	—	82,339
セグメント間の内部営業収益又は 振替高	3,975	447	2,266	6,689	△6,689	—
計	58,416	25,833	4,778	89,029	△6,689	82,339
セグメント利益	1,195	657	302	2,155	7	2,163

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2018年12月1日至2019年5月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	共同物流 事業	専用物流 事業	関連事業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	56,192	25,201	3,172	84,567	—	84,567
セグメント間の内部営業収益又は 振替高	4,386	457	2,244	7,087	△7,087	—
計	60,578	25,658	5,417	91,654	△7,087	84,567
セグメント利益	1,159	760	232	2,152	15	2,167

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。